

Whoseの 疑問文	① Whose ticket is this? (これは誰のチケットですか?) It's mine. (それは私のものです。)
<p>① 「誰の…ですか」と持ち主を尋ねるとkには「Whose+名詞」で文を始め、後に疑問文の形を続ける。 Whose…には It is mine. (それは私のものです。)のように持ち主を答える。 「～のもの」の言い方にはmine (私のもの) yours (あなたのもの) Kaito's (カイトのもの) などがある。</p>	
<p>The doors open in five minutes. 5分後にドアが開きます。 「in+時間の長さ、期間」は「…後に」という意味を表す。</p>	
<p>Whose ticket is this? Is it yours? これは誰のチケットですか?あなたのですか? ①の説明を参考にする。</p>	
<p>Oops! Yes, it's mine. おっと!はい、それは私のです。 oopsは「おっと、うわっ、しまった」という意味。驚いた時や何か失敗してしまった時に使う。</p>	
<p>It's very crowded here. ここはすごく混んでいる。 ここでのitはばく然とした状況を指していて、日本語には訳されない。</p>	
<p>Rakugo has a history of over 400years, and it's still popular. 落語には400年を超える歴史があって、いまだに人気がある。 haveは「持っている」ではなく「ある」と言う存在を表す意味。stillは「まだ」という意味。</p>	
① 5分後にドアが開きます。	
② これは誰のチケットですか?あなたのですか?	
③ おっと!はい、それは私のです。	
④ ここはすごく混んでいる。	
⑤ 落語には400年を超える歴史があって、いまだに人気がある。	